



## 住信SBIネット銀行株式会社

# インターネットでフルバンク・サービスを提供 自由度の高いシステムで多彩な商品を展開 eSCOFIやTSSummitなどを使い、約1年でシステムを稼働

### ■要件

2007年9月の開業当初から通常の銀行と同じフルバンク・サービスを目指し、各種システムを同時に開発した。ローン扱うシステムや為替/デリバティブなどを扱うシステムも短期間で稼働させる必要があった。

### ■ソリューション

実績のあるパッケージ・ソフトを採用し、開発量を抑える。証貸ローンシステムには「eSCOFI」を、市場系のシステムには「TSSummit」をそれぞれ使い、開発/導入を新日鉄ソリューションズに依頼した。

### ■成果

構築は計画通り終わり、きめ細かく多彩なサービスを開業時点から提供できた。1円から手数料なしで繰り上げ返済できる住宅ローンや、手数料が安価な外国為替などの各種取引サービスをネットで実現している。

### 与信/受信/決済の3大業務を 開業時から提供することを検討

インターネット上のWebサイトを窓口に行う銀行業務を行う「オンラインバンク」には大きく分けて二つある。一つは、各種取引の決済を専門に行うタイプ。もう一つは、現実の銀行と同様に与信/受信/決済の3大業務を提供するタイプである。

住信SBIネット銀行は、後者のフルバンク・サービス型オンラインバンクで、住友信託銀行グループとSBIグループが共同出資して設立、2007年9月24日に開業した。「1円からでも手数料なしで繰り上げ返済可能な住宅ローン」や「手数料が安価な外国為替取引」などの魅力的なサービスで話題を呼んでいる。

既に同行は、開業から3週間で(会計年度末までに予定していた)ローン申込件数の過半を達成した。こうした早いペースで新規顧客を獲得できたのは、多彩なサービスを低コストで提供できるIT環境をスタート時点から整備したことが大きい。

準備期間は決して豊富ではなかつ

た。住友信託銀行グループとSBIグループの提携発表が2005年10月。準備調査のための合弁会社の設立が2006年4月である。銀行業務の中核を成す勘定系システムや、顧客との窓口になるWeb取引システムなど、数多くの重要なシステムを同時に開発する必要があった。

各種システムのうち、住宅ローンなどを扱う証貸ローンシステムと、為替・資金/有価証券/デリバティブを扱う市場系システムの導入を担当したパートナーが新日鉄ソリューションズである。いずれも銀行の業務システムとしては、非常に短い開発期間を前提としつつ、高い自由度と信頼性が求められた。

証貸ローンシステムのプロジェクトを担当したシステム第1部のマネージャーである青木滋氏は「基本機能が充実していることはもちろん、安定性が不可欠でした。さらに、返済方式/適用金利/返済期間を自由に設計できる柔軟性を求めました」と振り返る。

一方、市場系システムでは、外国

為替からデリバティブまで多彩な商品を扱えることに加え、取引を行うフロント業務、市場リスク分析などを行うミドル業務、コンファメーションを担当するバック業務を統合的に実現するソリューションを求めた。

「各部分で十分な業務ができることはもちろん、一度入力したデータをそのまま別の業務で使える仕組みにすることで、効率化や正確さを追求しました」と市場系システムのプロジェクトを担当したシステム第1部マネージャーの寺田訓氏は語る。

### 信頼性/柔軟性/実績を持つ パッケージとパートナーを採用

同行は、こうした要件を満たす最も効果的なソリューションを証貸ローンシステムと市場系システムのそれぞれについて検討した。同行が最終的に選んだのが、証貸ローンシステムでは「eSCOFI」、市場系システムでは「TSSummit」というパッケージである。

青木氏は「eSCOFIには、その自身のパッケージシステムに住友信託



住信SBIネット銀行株式会社  
システム第1部  
マネージャー  
青木 滋氏



住信SBIネット銀行株式会社  
システム第1部  
マネージャー  
寺田 訓氏

### 住信SBIネット銀行



住信SBIネット銀行株式会社  
本店：東京都港区六本木1-6-1  
設立：2007年(1986年 住信オフィスサービス)  
資本金：200億円(2007年9月24日現在)  
従業員数：140名(2007年9月24日現在)

銀行への導入実績があるという信頼感がありました。さらに、将来の商品追加時に柔軟な対応ができることが選定の決め手になりました」と語る。

寺田氏は「TSSummitはフロント/ミドル/バックの一連の業務領域をカバーすることに加えて、カスタマイズの必要性が低く、導入実績が豊富な点を評価しました」と語る。TSSummitは銀行を中心に国内で23社の導入実績を誇っている。

こうした機能面での評価に加え、両製品を扱う新日鉄ソリューションズの人材を評価したという。「新日鉄ソリューションズには、金融業務関係のシステム構築経験者が多く、業界の専門用語が飛び交うプロジェクトもスムーズに進められると考えました」と(寺田氏)。

2006年夏から秋ごろにかけてTSSummitやeSCOFIの採用を決めると急ピッチで構築プロジェクトが進んだ。eSCOFI、TSSummitともに機能が豊富だが、いくらかのカスタマイズは必要になった。別途構築

していた勘定系システムや顧客の窓口となるWeb取引システムなどとの連携部分でも開発が発生した。新日鉄ソリューションズはそれらにきめ細かく対応した。

### 円滑な開発で計画通り稼働 品質向上活動にも高い満足度

「例えば、開発フェーズの節目でスケジュールが変更されたときでも迅速に調整してもらいました。仕様を変更/追加したときもスケジュールを大きく変えることなく対応していただいています。パッケージ自体を理解しつつ、周辺機能の要件を理解して、プロジェクトへまとめ上げる力に卓越したものを感じました」と(青木氏)。

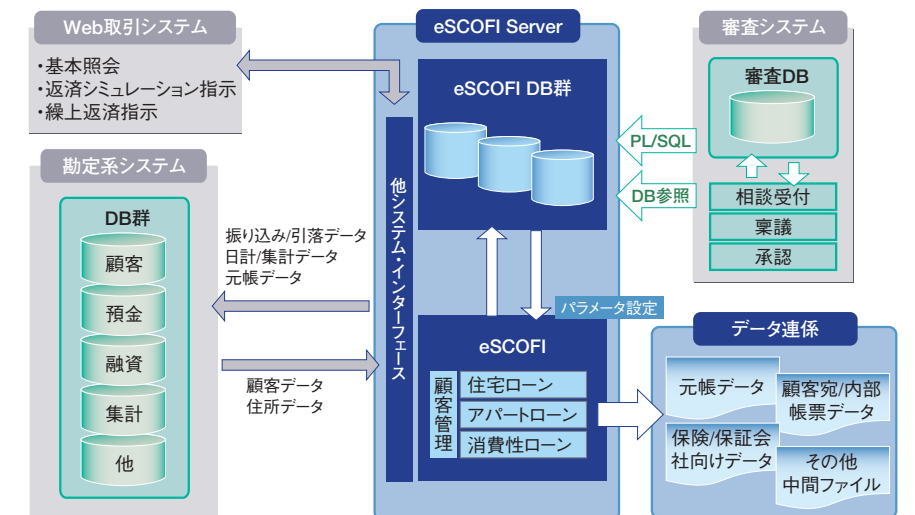
市場系システムでも新日鉄ソリューションズは機敏に対応した。「利

用部門の要求が複雑化し、課題が出たときも、当日あるいは遅くとも翌日には対応していただきました。プロジェクトもエンジニアの動きがリアルに見える透明性の高いものでした」と寺田氏は振り返る。

システムの品質向上についても新日鉄ソリューションズの対応は記憶に残ったという。「品質に関する自己評価レポートをテスト・カテゴリごとに提出するなど、我々が納得するレベルでの管理活動を行っていただきました。日常の報告も適切なタイミングで行われるとともに、課題が出たとき、それへ迅速に対応していただきました」と(青木氏)。

現在、各システムは順調に稼働している。同行は、さらなるサービスの拡充を目指して、2次開発プロジェクトを進めているところだ。

### ■住信SBIネット銀行が導入した証貸ローンシステムの概要



■コアテクノロジー  
業界トップクラスの業務知識、多数の導入実績を持つパッケージのノウハウ

■システム概要  
●主なアプリケーション：eSCOFI(証貸ローンシステム：住宅ローン、諸費用ローンなど)、TSSummit(市場系システム：為替・資金、有価証券、デリバティブ)